

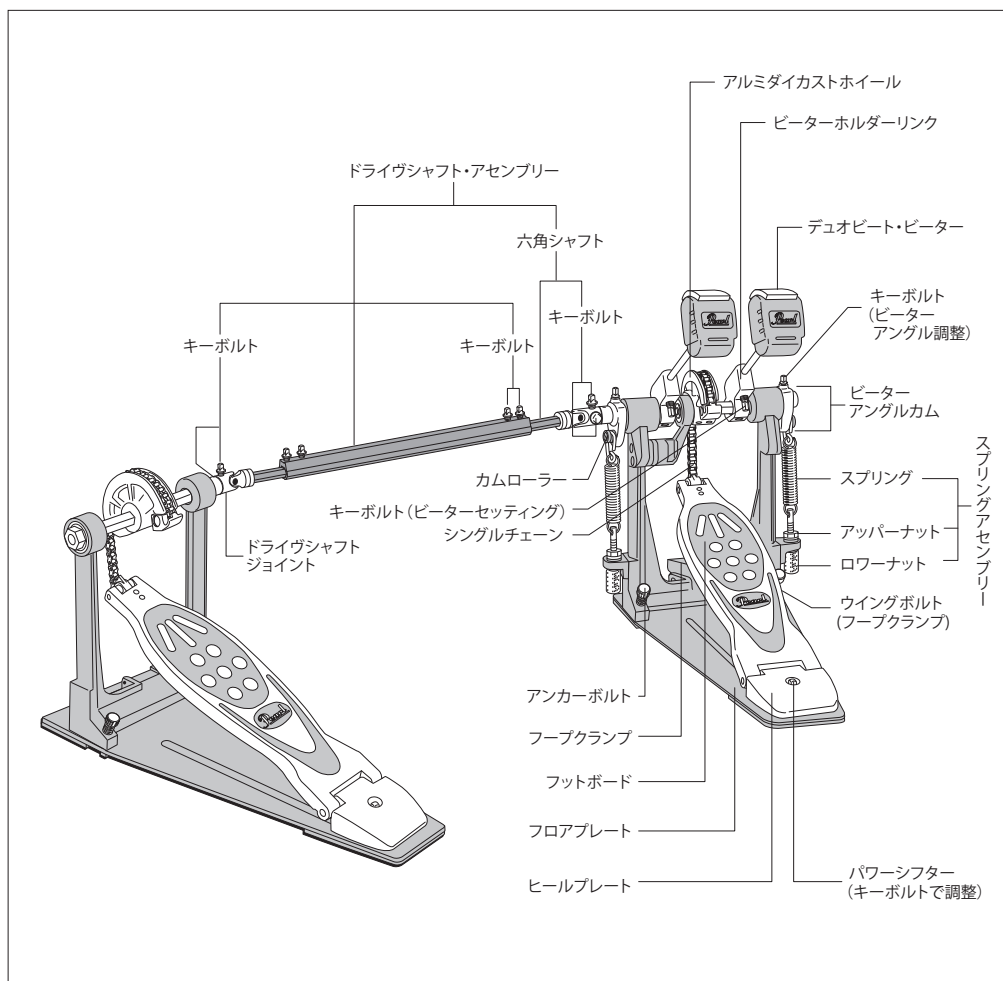
# PEARL DOUBLE PEDAL COMPLETE

## P-122TW / P-122TWL

## P-121TW (Double Pedal ASSEMBLY)

### 取扱説明書

このたびは、P-122TW,P-122TWL,P-121TWツインペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひごらん下さい。



## セッティング

サブペダル(左側)の右の接続部にドライブシャフトジョイントを差し込み、キーボルトで固定します(図1)。

ドライブシャフトジョイント

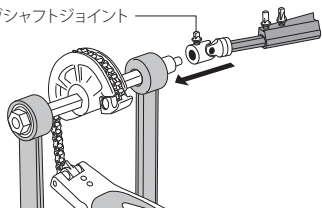


図1

メインペダル(右側)の左の接続部に、ドライブシャフトジョイントの反対側を差し込み、キーボルトで固定します(図2)。

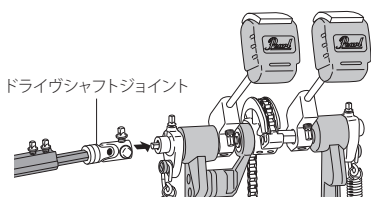


図2

ドライブシャフト・アセンブリのキーボルトをゆるめ、六角シャフトをスライドさせることにより、左右のペダルの間隔を調整します。位置が決まったら、キーボルトを締めて固定します(図3)。

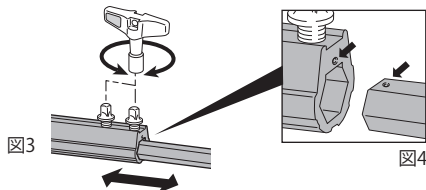


図4

※左右のペダルに接続するドライブシャフト・アセンブリは、六角シャフトが中央のパイプにあらかじめ収納されていますが、はずしてしまった場合には、それぞれの接続ポイントにあわせて接続して下さい(図4)。

## “パワーシフター”アクション調整システム

ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後に移動させることにより、フットボードのポジションを3通りに設定することができる、画期的なメカニズム。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。それぞれ異なるアクションが楽しめますので、ぜひお試しください(図5,6)。

- A. 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
- B. 素直なアクションが得られるノーマルポジション。
- C. スピーディーなフットワークに対応するポジション。

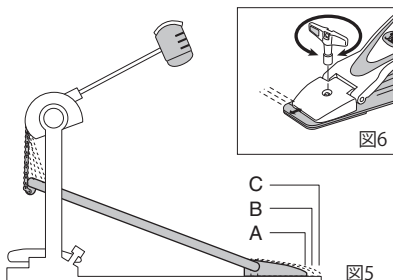


図5

## デュオビート・ビーター

スタンダードなフェルト(A)とハードな樹脂(B)の2タイプの素材を使い、それぞれ異なる形状をもたせたビーター。サウンドの違いをぜひお試しください(図7)。



図7

ビーター面	A	B
表面素材	フェルト	プラスチック
サウンド	丸く太いアタック	ハードで太いアタック

セッティングの際は、ビーターシャフトをビーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します(図8)。

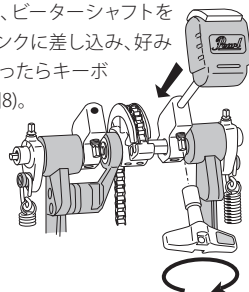


図8

## ビーターアングルの調整

ビーターアングルカムのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えることなくビーターの角度を無段階に調整することができます。好みのアングルが決まったら再びキーボルトで固定します(図9)。

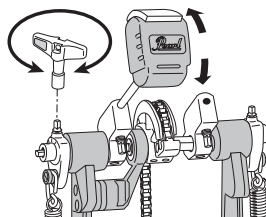


図9

## スプリング・テンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローナットを締めます。弱くしたい場合には、それとは逆の手順で行います。このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい(図10)。

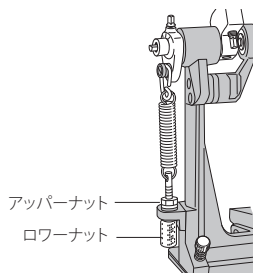


図10

## アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパー。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい(図11)。

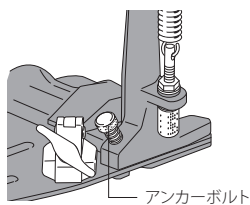


図11

## フープクランプ

横から操作出来るフープクランプシステム。バスタドラムのフープをはさみ、ウイングボルトを締めてペダルを固定します(図12)。

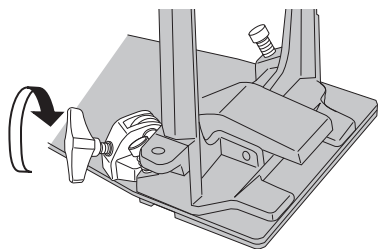


図12

\*\*\*\*\*  
**P-121TWをメインペダルとし、お手持ちのP-120Pシングルペダルをツインペダルのサブペダルとしてお使いになる場合。**  
 \*\*\*\*\*

P-121TWには下記のようなパーツが含まれています(図13)。

- \* ツインペダル部
- \* デュオビート・ピーター(注)
- \* ドライブシャフト・アセンブリー

(注) P-121TWに付属されているピーターは1本のみです。お手持ちのピーターと組み合わせてお使い下さい。

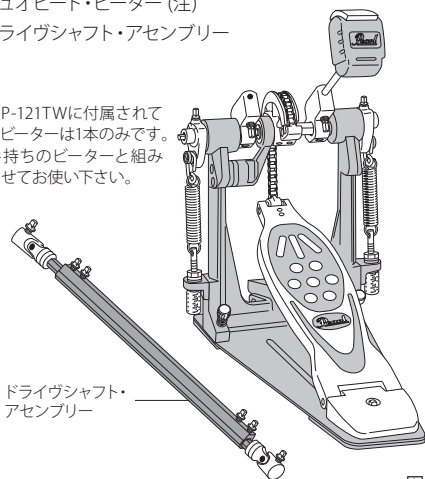


図13

## STEP 1

まず、お手持ちの P-120P シングルペダルから、ピーター、スプリングアセンブリー、ピーター・アングルクーム、キーボルトをチューニングキーと付属の六角レンチを使って取り去ります(図14)。

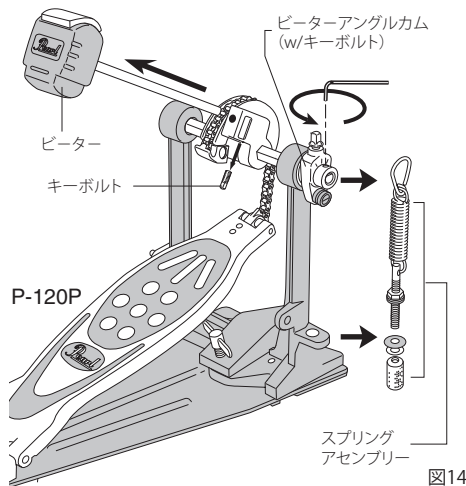


図14

## STEP 2

スプリングやカムなどのパーツを取り去ったP-120Pの右端の突起部(接続部)に、付属のエンドスペーサーを差し込み、六角レンチ(付属)で固定します。その際に、ベアリングがポストにきちんと収まり、左右にガタのないことを確認して下さい(図15)。

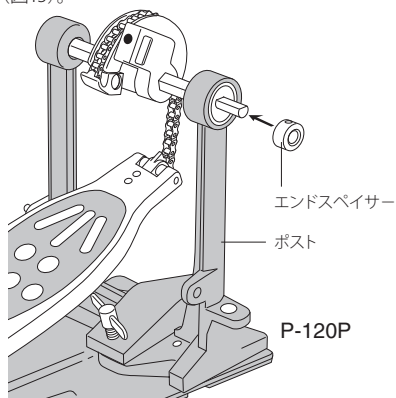


図15

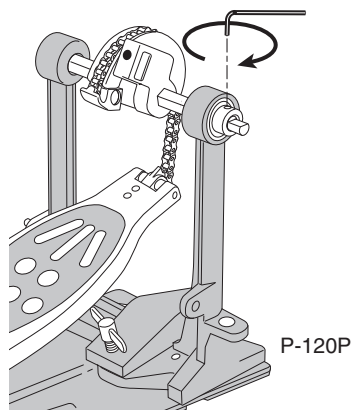


図16

これで、P-120Pがツインペダルのサブペダルとして、ご使用出来ます。

P-120Pから取り外したビーターはP-121TWにお取り付け下さい。また、P-120Pより取り外したスプリングアセンブリ、ビーターアングルカム及びキーボルトは大切に保管して下さい。

P-121TWとP-120Pの接続に関しては、文頭の説明文をご参照下さい(図16)。

## PS-85 ペダルスタビライザー (別売)

サブペダルの安定度を高めるために、フープクランプ部に取り付けて使用します。

### <注意!>

- ホーローネジがゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、チェーン、カムローラー、フット
- ボードヒンジなどの可動部分には時おり注油グリス等して下さい。
- ベアリングへの注油に、粘性の低い潤滑油のご使用はお控えください。
- フロアプレート裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取して下さい。

*Pearl*

パール楽器製造株式会社

〒276 - 0034 千葉県八千代市八千代台西10 - 2 - 1  
047 - 484 - 9111 (代)

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan 2004